

お知らせ

記者発表資料

令和4年6月13日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

# 中国地方整備局において初機体となる 災害対策用ヘリコプターの 就航式を開催します

(就航式でヘリコプターの愛称をお披露目します)

◇ 国土交通省中国地方整備局では、災害発生時における迅速な情報収集等に活用する災害対策用ヘリコプターの運用を新たに開始することに伴い、就航式を開催します。

◇ 就航式では、一般募集のうえ決定した本ヘリコプターの愛称の発表もあわせて行います。

◆ 就航式

日時：令和4年6月19日（日）10時30分から

場所：広島ヘリポート内 中日本航空（株）広島運行所 格納庫

■就航式について：別紙のとおり

■ヘリコプターの概要：別紙のとおり

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 統括防災官室

082-221-9231（代表）

【担当】式典及び愛称に関すること 防災管理官

さくらいよしひこ  
櫻井克彦（内線2123）

ヘリコプターに関すること 災害対策マネジメント室長

にしおかひさお  
西岡寿雄（内線2181）

## 就航式について

1. 日 時：令和4年6月19日（日曜日）

- 受付 午前10時から
- 式典 午前10時30分から11時00分（終了時間は予定）

2. 式次第（予定）

- 一、開式のことば
- 一、挨拶
- 一、祝辞
- 一、祝電披露
- 一、鍵引渡し
- 一、除幕（※愛称お披露目）
- 一、愛称表彰及び記念品贈呈
- 一、テープカット
- 一、閉式のことば

※ヘリコプターの愛称について

募集期間：令和3年12月20日～令和4年1月31日

応募総数：573点（372種類）

選考方法：「中国地方整備局災害対策用ヘリコプター愛称選定委員会にて決定

〔愛称表彰については、決定した愛称の応募者のうち、  
代表の方1名にご出席して頂く予定です〕

3. 場 所：広島県広島市西区観音新町4丁目10-2

中日本航空（株）広島運行所内 格納庫



【報道関係の皆様へお願い】

当日取材を希望される方は、別添「取材申込書」により事前に申込みをお願いします。

(注) 当日格納庫前駐車場はご利用頂けません。旧ターミナル前駐車場をご利用ください。



## 中国地方整備局災害対策用ヘリコプターの概要

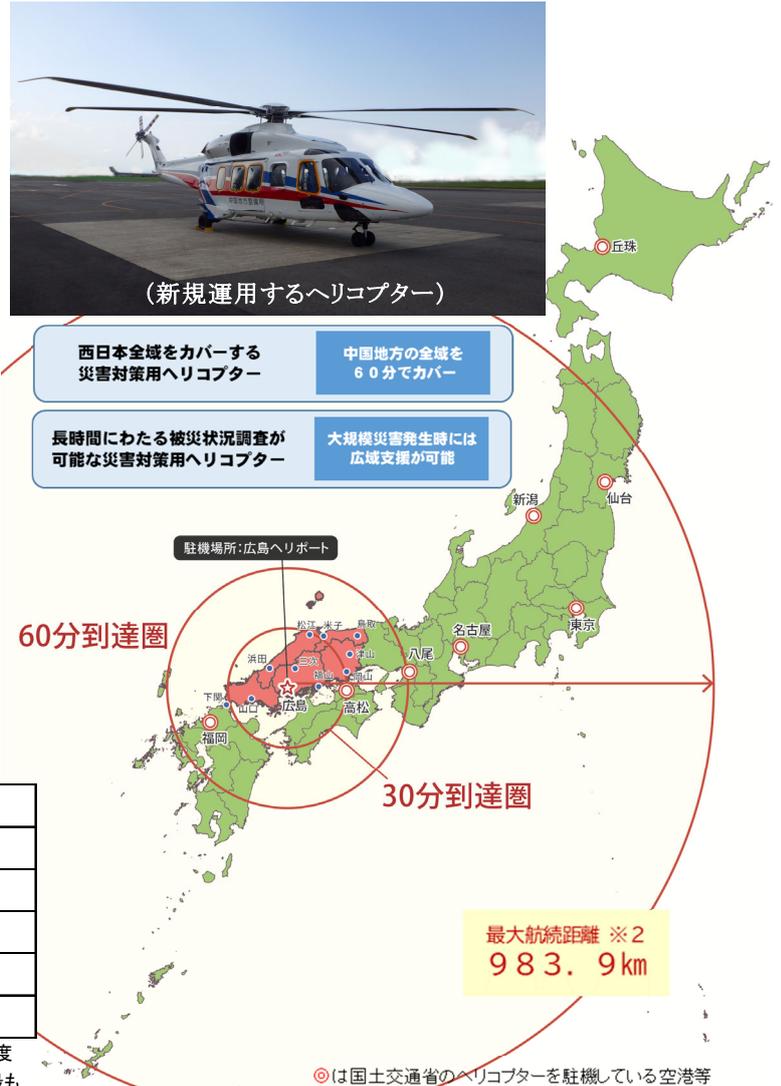
災害対策用ヘリコプターは、自然災害発生時に、迅速かつ広域的に被災状況の把握を行うなど、発災直後の初動対応等において極めて重要な役割を担っています。

国土交通省では、これまで中国地方以外の地方整備局等管内に計8機のヘリコプターを配備していましたが、今般、中国地方整備局で初めてとなる災害対策用ヘリコプターの運用を開始します。

新規運用するヘリコプターは、次のように様々な優れた特徴を有しており、中国地方整備局では、この機体の能力を最大限に活用し、災害対応等にあたってまいります。

### ■特徴

- ①速度性能が高く、中国地方の全域が60分以内で到達可能。地震等の突発的な災害時にも迅速な調査等対応が可能。
- ②航続距離が長く、1フライトで長時間にわたる被災状況調査が可能。中国地方以外で発生した大規模災害発生時にも、広域支援が可能（西日本全域カバー）。
- ③搭乗員数最大16名の大型の機体であり、1フライトで多くのテックフォース隊員等が搭乗可能。
- ④機体両側に衛星通信設備を各1台ずつ搭載し、衛星回線により画像伝送を行う「デュアルヘリサット」機能を装備。どこにいても安定的に高細密な画像をリアルタイムで伝送することが可能。



機種	レオナルド式 AW189型
全長	17.57m(ブレード含む)
最大離陸重量	8,600kg
最大巡航速度※1	281.5km/h
最大航続距離※2	983.9km
座席数	16席(操縦席2席を含む)

※1 最大巡航速度: 標準大気、高度4,000ft、最大搭乗時における最大速度  
 ※2 最大航続距離: 標準大気、高度4,000ft、最大搭乗時における最大(最も燃費の良い場合の)距離

### 【ヘリコプター活動事例】平成30年7月豪雨災害(他地方整備局機体による調査)

